

近くにいたのに。



虹の女神

Rainbow Song

岩井俊二プロデュース 熊澤尚人監督作品

市原隼人 上野樹里

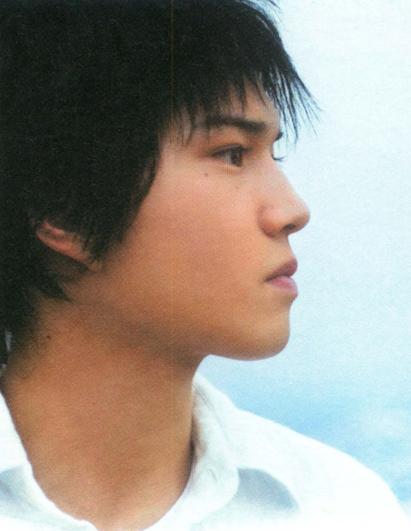
蒼井優 酒井若菜 鈴木亜美 相田翔子 / 小日向文世 / 佐々木蔵之介

プロデューサー: 岩井俊二 / 橋田寿宏 原案: 桜井亜美 脚本: 桜井亜美 / 齊藤美如 / 網野酸 監督: 熊澤尚人
主題歌: 種ともこ「The Rainbow Song〜虹の女神〜」(フニーミュージックダイレクト) 音楽: 山下宏明

プロデュース: アミューズソフトエンタテインメント / プレイワークス 制作: ロックウェルアイズ
製作: 「虹の女神」製作委員会 (アミューズソフトエンタテインメント / テレビ東京 / 東宝 / 封冬香 / S・D・P / スカパー・ウェルシンプ / TOKYO FM / 朝日新聞社 / 電通 / ぴあ / スプレックス)
支援: 文文化庁 配給: 東宝 ©2006「虹の女神」製作委員会

www.rainbowsong.jp

PC・携帯対応 内容共同規制 15歳以上



「不思議な虹を見た・・・」

『Love Letter』『花とアリス』『スワロウテイル』『イノセントワールド』『ニライカナイからの手紙』『リリイ・シシュのすべて』『スウィングガールズ』
岩井俊二プロデュース × 桜井亜美 原案 × 熊澤尚人 監督 そして、市原隼人 × 上野樹里

才能が出会い、生まれた美しくせつない感動の物語

人は大切な誰かを失ったとき何を思うのだろうか・・・そして何を見出して生きていくのだろうか。

数多くの名作を生み出した岩井俊二が自身の作品以外ではじめてプロデュースした作品『虹の女神 Rainbow Song』。大学の映画研究会を主な舞台に、誰もが共感する感動の物語がついに誕生する。原案は脚本にも参加した作家の桜井亜美。ヘビーな現実をサバイブする少女たちの代弁者として圧倒的に支持される彼女が、本作で新しい世界を切り開いた。メガホンをつとめたのは、『スワロウテイル』のメイキングプロデューサーもつとめた熊澤尚人。役者の持ち味を引き出し、エモーショナルで美しい青春映画を作り上げた。

主演には市原隼人。いま最も勢いのある彼が、5年振りに岩井ワールドに。優柔不断で鈍感だがどこか憎めない智也を、魅力的に演じている。ヒロインのあおいには、作品ごとに違った陰影を見せる上野樹里。ピュアでまっすぐな個性を存分に生かしながら、この役に生命力を吹き込んだ。また目の不自由なあおいの妹、かなには蒼井優。若手俳優のなかでも随一の実力を誇る彼女が、あおいと智也の思いをつなぐ存在として物語に奥行きを生み出している。

STORY

映像制作会社に働く智也は、ある日、大学時代の友人・あおいが飛行機事故によって、アメリカで命を落としたことを知る。2人の出会いは、最悪だった。智也は片思いをしていた女の子と近づくため、彼女の友人であるあおいに声をかけたのだ。大学の映画研究会に所属するあおいは、自分が撮影する映画のフィルム代欲しさに、智也の恋のキュービッド役を引き受ける。結局、あっけなく失恋した智也だったが、何故かあおいの監督作『THE END OF THE WORLD』に主演俳優として無理やり出演させられることに。

ふたりはやがて、他愛のないことから将来の悩みまで、様々な事を打ち明ける仲になっていった。

大学卒業後、映像制作会社に入社したあおいは、アメリカに留学することを決意する。

一方の智也は、あおいの心のなかで育っている思いに気づくことなく、彼女を送り出す。

あるとき、智也がふと空を見上げると、不思議な虹が出ていた――。

あおいの告別式の日、『THE END OF THE WORLD』の上映会が行われる。

智也にとって、あおいはどのような存在だったのか。その答えは、思いがけないカタチで智也に届く事になるのだった。

名曲『The Rainbow Song』が復活！

製作中に、種ともこの『The Rainbow Song』を久々に耳にした岩井が、作品の世界観を完璧に表現している奇跡的な偶然に驚き、主題歌とサブタイトルに起用。

今回この映画の為に種自身によってセルフカバーされ

『The Rainbow Song ~虹の女神~』として復活、

透明感と力強さの同居する歌声が智也とあおいの青春を彩る。



【環水平アーク】

劇中で重要な役割を果たす『不思議な虹』。薄い六角板状の氷の結晶が水平に揃ったとき、太陽光を屈折させることによって発生。一般の虹が太陽とは反対の方向に見えるのに対して、環水平アークは太陽の下側に出現。太陽高度が高くないと出現しないため、低緯度でよく見られる。東京で多く観測されるのは3月から9月。

10月28日(土)全国東宝系ロードショー!

フジTV前・アクアシティお台場
シネマメディアージュ
〒03 (5531) 7878
通常料金での全席指定・定員入替制
http://www.cinema-mediage.com

